

「新しいモビリティ・サービスへの期待と課題」

日時：10月6日(火)16:50-18:35(5限)

国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)における対面授業とオンライン授業の併用

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、筑波大学特命教授、(一財)日本みち研究所理事長石田東生氏からお話を伺います。

モビリティ・サービスが大きく変わろうとしています。データや運用の連携を行い移動サービス提供の連続性と総合性を目指すMaaS、人にも環境にも優しいマイクロモビリティの市場導入、これらを踏まえたまちや交通のリデザインなどです。各地で実装を目指したプロジェクトが展開されていますが、いろいろな課題も明らかになりつつあります。これらを踏まえて、課題解決に向けて、また新たな政策方向に向けて全員で議論していきます。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生も参加願います。

(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

- ※ オンライン授業URLは授業開始前にITC-LMSで確認し、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。
- ※ 対面授業を希望する受講生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室定員を超えた場合のみ対面授業に参加できない者に個別に連絡する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



筑波大学特命教授
(一財)日本みち研究所
理事長
石田 東生氏